

体育発表会の御参観をお待ちしています

副校長 中村 明子

5月から練習を重ねてきた体育発表会の日が、近づいてきました。毎日、校庭や体育館で児童も一生懸命練習して、動きや全体の隊形が整ってきています。今年度は、コロナウイルス感染症も5類になり、入場制限がない形で行います。天気が少し心配ですが、当日はたくさんの方の御参観をお待ちしています。児童に温かい声援をお願いいたします。詳細は、学校から配布のお手紙をご確認ください。

6月になり、梅雨の時期が近づくとともに、街角のあちらこちらで美しい紫陽花が咲き始めます。紫陽花は、日本では奈良時代の万葉集にも登場し、古くから日本人の身近なところにある花です。しかし、一時期は、あまり人気が出ず、明治時代にシーボルト等(諸説あります)が海外に、日本の紫陽花の良さを伝え、海外で盛んに品種改良が進められたそうです。そして、美しく多種になった紫陽花が再び日本に入ってきて、西洋紫陽花として全国で再び広まったそうです。各地に名所がたくさんある紫陽花は、見た目は日本的ですが、日本で生まれ、世界を駆け巡るグローバルな花ということです。

鎌倉の明月院では、明月院ブルーという色の紫陽花が有名で、毎年、多くの人が美しい花を見ようと訪れるそうです。私が驚いたのは、紫陽花を育てる人たちの計画性・実行力です。花の見頃を過ぎると、一年後を見据え、広いお寺の中の多くの花を、どんどん剪定するそうです。来年もたくさんの花が咲くように、どのような世話をしていけばいいのか、どんな肥料を与えればいいのか、一年後の姿を予想し、見通しをもって、協働して活動をしていくお寺の方々の努力の結晶として、毎年、美しい花を咲かせ、訪れる人々を喜ばせています。紫陽花の花には、美しい花を支える人間の知恵と努力が隠れているのです。

開四小では、児童の「主体的・対話的で深い学び」を目指して日々学習指導しています。未来を生きる児童には、先を見通し、解決方法を自ら見付け、活動ができる力を身に付けてほしいと願っています。そして、グローバルな社会で活躍する人材に育ってほしいものです。

美しい紫陽花に囲まれながら、6月も児童の更なる成長を、学校全体で指導・支援していきますのでよろしくお願いいたします。

